

2025



# 助けあい 支えあいで 縁結び あいあいねっと通信

# 1月

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年も皆様がご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、長引く物価高の影響もあり、全国的にフードバンクへの食品提供が減少する中、あいあいねっとの取扱量も、約 35 t と前年度（39 t）よりも減少しています。あいあいねっとを経由せず、活用団体へ直接食品提供する企業が増えたこともありましたが、わずかな減少にとどまっているのは、フードドライブからの提供が多くあったためです。食品ロス削減の輪の広がりを感じるとともに、ご協力に感謝申し上げます。しかしながら、2022 年国民生活基礎調査によると 65 歳以上の高齢者世帯の貧困率は約 20% で、男性単身高齢者は 30%、女性単身高齢者では 44% にもなり、高齢者の貧困が深刻化しています。あいあいねっとにも、高齢者からの食料支援を求める連絡が増えています。そこで、必要なものを必要な量お渡しできるよう、食品活用団体の活動報告書を定期的に提出していただき、食料提供内容を検討しました。また、より困窮度の高い方へ優先的に食料を分配するために、コロナ禍より開始した食料配布会は、10 月の配布で終了しました。長らく食料配布会の開催にご協力くださいました、ボランティアの皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

そのような中でも、地域の方が笑顔になり楽しく学べる場所を作りたいとはじめたミニ講座は、今年 1 月で 12 回目を迎えます。1 月は、株式会社コーヨーの吉村隆文様をお招きし、「知っておきたい！ごみの話」の講座を開催します。同封のポスターをご覧いただき、ぜひ、ご参加ください。これまでの様子も HP や facebook で配信しております。

食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！

**フードバンク活動**

**食品ロス削減活動**

**健康づくり活動・まちづくり活動**

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなつた食品（食品ロス）を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

また、2024 年秋には、「第 1 回広島市食品ロス削減推進表彰」を受賞しました！！この賞は、食品ロスの削減に関して優れた取り組みの功績をたたえ、表彰されるものであり、より一層、食品ロス削減を推進していくことを目的に、この度初めて表彰がありました。あいあいねっとがこれまで 17 年間行ってきた、フードバンク事業、寄贈された食品ロスを活用した生活困窮者食料支援やまちづくり事業、食品ロス削減啓発事業の取り組みを評価していただき、記念すべき第 1 回目に、受賞の運びとなりました。

私たちの活動は、地域のボランティアスタッフやパートナー団体様、食品を寄贈していただけた企業・個人の方等々など、たくさんの方々に支えられ、今まで継続することができました。改めて感謝申し上げます。

これからも限りある地球資源を有効に活用し、その人がその人らしく、安心して暮らすことのできる地域社会を築くお手伝いができますように、より一層のご支援とご協力をお願ひいたします。



★日々の活動は、facebook で公開中



【編集・発行】

**社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと**

■住所：広島市安佐北区可部 3 - 9 - 21  
■TEL：082-819-3023  
■FAX：082-815-6666  
■Email：aiainet@nagominosato.jp  
■web：http://www.aiainet.org/





## 『新年にあたって』

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

新年明けましておめでとうございます。

旧年は、大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、2008年に活動を開始したあいあいねっとは、今年で18年目を迎えます。この間、様々な課題に直面し絶余曲折ありましたが、スタッフ・ボランティア皆で心と力を合わせ、何とか、切り抜けてまいりました。これも、ひとえに、地域を始め、多方面から多くの皆様方のお力添えがあったからこそでございます。感謝に耐えません。

ところで、あいあいねっとのミッションは「限りある地球資源を大切にし、誰もが尊厳を持ってその人らしく楽しく暮らすことのできる社会づくり」です。このミッションを達成するためには、具体的には、①食品ロスを削減する②食品ロスを有効に活用して生活に困っている人々を支援する団体や個人を支援する③食品ロスを活用して地域を健康に元気にするの3つの活動を柱に立てて頑張っています。どれも、待ったなしの課題ばかりですが、本年は今まで以上に③に力を入れて地域社会の課題に果敢に挑戦したいと考えています。

ご存じかと思いますが、新聞やテレビなどのメディアで報道されているように、今の日本は、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会を迎えていました。あいあいねっとが位置する広島市安佐北区の高齢化率は36%にもなっています。正に、通りに出れば高齢者ばかりです。

高齢になると多くの困難を抱えますが、とりわけ食事に困ったを抱える高齢者が多くいます。食べることは、生きる基本ですので、まことに難儀な問題です。そこで、あいあいねっとでは、

「食」を中心に、高齢者の困ったを解決するよう少しでもお役に立てばと、様々な支援活動に力を入れて展開して参ります。ご期待いただければ幸いです。

皆様からの、励ましのお言葉が、あいあいねっとの力の源泉でもあります。旧年同様、本年も引き続きたくさんのご協力ご声援を賜りますよう心中よりお願ひ申し上げます。

## 「子育て世帯応援食品パック」事業を行いました！・・・・・・・・・・・・

2024年9月から10月にかけて、「子育て世帯応援食品パック」事業を行いました。この活動は、広島市生活困窮者支援活動事業費助成金を活用し、広島市内にお住まいの高校生以下の子さんのいる世帯のうち、対象条件を満たす世帯に、企業や個人の方から寄付された食品を詰め合わせ、無料で郵送する取り組みです。申し込み条件は、①ひとり親世帯の場合は、児童扶養手当満額受給世帯、②二人親世帯の場合は、住民税非課税世帯、③その他①と②に相当する経済状態の世帯とし、129世帯の応募があつたため、抽選で100世帯に郵送しました。ダンボールに、お米、調味料、レトルト食品、乾麺、お菓子などを詰め合わせ、メッセージカードと協力企業の紹介も一緒にお送りしました。お米の値段が高騰する中、たくさんの企業様、個人の方からお米を提供いただき、誠にありがとうございました（写真左）。当選者からは、「持病がありながら、子どもたちを育てています。十分に働けないため、食べ盛りの子どもたちに惨めな思いをさせてしまっていることに情けなく思っていました。こんなに豪華な食品が届くとは思ってもみませんでした。明日への光が見えた気がします。」など、お礼のメールがありました。長引く物価高騰の中、食べ盛りの子どもたちを抱える世帯に、安心と笑顔が増えると嬉しく思います。



にのみやグループ  
恵正会 正仁会



広島中央  
ライオンズクラブ様



ミック(株)様



(株)コヨー様



箱詰めが終わりました！



## パートナーさんのご紹介

【株式会社イズミ】様は、フードドライブで集まった食品を定期的にあいあいねっとへ提供してくれています。いつもありがとうございます。その他にも、とても素敵な独自の食品ロス削減活動と地域貢献に取り組まれており、2024年10月には、広島市食品ロス削減推進表彰を受賞されました。ゆめタウン・ゆめマートでお買い物の際は、皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

### 『ゆめタウン・ゆめマートの食品ロス削減の取り組み～お客さまとともに～』

株式会社イズミ サステナビリティ推進課 浦辺 敏子

ゆめタウン・ゆめマートを運営している(株)イズミでは、食品ロス削減と地域貢献のため、2021年4月から、お客さまにご家庭で未利用の食品を持って来て頂き、集めた食品を各地のフードバンク団体に寄贈する「フードドライブ」を実施しています。当初は数店舗から始まったフードドライブも、2024年8月には71店舗まで拡大しました。広島県内でも全ての「ゆめマート」と、一部の「ゆめタウン」で実施しており、そのほとんどがあいあいねっと様を通じて食を必要とされている方へお届けされています。家庭からのフードドライブは、多品種少量の食品を集めることができる機会です。ゆめタウン・ゆめマートのフードドライブは、店舗営業時間中いつでも受付ができる常設設置(※1)ですので、お買物のついでに、お気軽にお持ち頂ければと思います。

また、食品ロスの問題は食品を扱うスーパーマーケットとして避けることができない重要な課題です。店舗では、仕入れや売場作りなどを工夫し、ロスを出さない取組みを行っています。さらにお客さま、つまり地域の生活者の方とともに取り組むことで、地域全体の食品ロスも削減できると考えます。そこでゆめタウン・ゆめマートでは、すぐに食べるなら手前から商品を選ぶ「てまえどり」を推進し、そのための動機付けとして「もぐもぐチャレンジ」を導入しています。これは「もぐにいシール」が貼られた賞味・消費期限が近い食品から購入いただき、シールを集めるとガチャができたり、こども食堂への寄付につながる企画です(※2)。自然と楽しみながら食品ロスを削減できる企画となっていますので、店舗でお見かけの際は、ぜひご利用ください。



ゆめタウン・ゆめマートはこれからも地域の皆さんとともに食品ロス削減、地域貢献に取り組んでいきます！！



もぐにいシール



(※1)フードドライブ実施店舗は、ゆめタウン公式HPよりご確認ください。

(※2)店舗により企画内容は異なります。



## 『経済発展とともに福祉国家の確立を目指す』

社会福祉法人正仁会 業務執行理事 松林克典

新年明けましておめでとうございます。2025年の幕開けです。この記事を書いている11月中旬まで日中の夏日（25°C以上）を経験していて、なんだかとても正月がやってくるのが早く感じて気分が盛り上がりません。気候変動は、日本を亜熱帯にしているのではないかと疑いたくなります。異常な環境変化は、人間の活動も誤った方向に進めるのか、人間の所業が異常気象を招いているのか、摩擦や紛争は世界のあちらこちらで発生して拡がっています。今年は、先の大好きな過ちから80年の節目です。古今東西、大昔から何度も繰り返される悲劇は、人間の本質が異常であることの証なのかも知れません。6年後には世界で約束された『持続可能な発展目標：SDGs』のタイムリミットを迎えます。ウクライナ戦争では、そのようなことは一切お構いなしで、毎日、一基が数十万から数百万円もする爆弾を繰り返し打ち合っています。一台が数億円もする戦車などが数千台も破壊されています。ガザでも同様です。お隣の国では国民が飢えていても一基が十数億円はすると思われるミサイル発射実験を繰り返します。世界では一日1.25ドル（約200円）以下で生活している人たちが多く存在するのに、悲惨なことです。世界の富は、無尽蔵に膨張しません。富むところがあれば、貧困に喘ぐところが生じます。それが資本主義経済というものです。人の殺戮のために湯水の如く財が浪費され、これまで世界で築き上げた生活の場が一瞬で灰になっています。さらに自然まで破壊して、世界の食料庫とさえ言われた肥沃な大地を汚す所業は、浪費と破壊による全世界的な福祉（しあわせ）の衰退を意味するものだと考えられます。

今年わが国では戦後生じた団塊の世代があまねく75歳を迎えるという『地域包括ケアシステム』確立年を迎えます。福祉国家の使命として、社会福祉を充実させるためには経済的発展が欠かせません。国が富まなければ再分配機能が発揮できないのです。“打ち出の小槌”がない限り、「高福祉低負担」の現実はありません。社会福祉法人正仁会“なごみの郷”もしっかり経営して福祉の充実に貢献したいと考えます。同じく、“あいあいねっと”は、地域のニーズに可能な限り応え続けられるように活動をしていきます。今の世に余裕のある人はあまりいませんが、是非とも皆様方のお力添えも頂戴したいと存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。

### 私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆株式会社あじかん◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社◆アヲハタ株式会社
- ◆株式会社イズミ◆イズミ・フード・サービス株式会社◆株式会社エコールドフルール◆江崎グリコ株式会社
- ◆株式会社SKYコーポレーション◆NTT労働組合中国総支部◆株式会社エムズホーム◆株式会社M&K  
◆株式会社M&Cコラボレイション◆おおたけ株式会社◆株式会社沖野建築設計
- ◆キユーピー株式会社広島支店◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社
- ◆株式会社三幸産業◆ジャパンフード株式会社◆生活協同組合ひろしま◆株式会社そごう・西部 そごう広島店  
◆ダイキヨーニシカワ株式会社◆ダイハツ広島販売株式会社◆株式会社ダイヤス食品  
◆大和リース株式会社広島支店◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社
- ◆東京海上日動火災保険株式会社◆東芝テックソリューションサービス株式会社◆堂本食品株式会社
- ◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ◆西日本高速道路パトロール中国株式会社  
◆広島アグリフードサービス株式会社◆広島駅弁当株式会社◆広島ガス株式会社
- ◆公益財団法人広島市農林水産振興センター◆広島綜合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社  
◆広島バスセンター◆広島森永乳業株式会社◆株式会社フォーリーフ◆藤井医療器株式会社  
◆株式会社ポプラ◆マルサンアイ株式会社◆ミック株式会社
- ◆三菱地所株式会社及び三菱地所プロパティマネジメント株式会社◆株式会社ミライト
- ◆株式会社三國屋安芸太田工場◆株式会社ミルックス広島支店◆明治安田生命保険相互会社
- ◆山崎製パン株式会社広島工場◆株式会社ユアーズ◆ゆかり屋本舗株式会社◆株式会社良品計画  
◆YKK AP株式会社